

令和2年8月19日（水）新聞発行番号6

第2層協議体の進捗状況を共有します。

北小圏域

第4回第2層協議体
7月19日（日）

新型コロナウイルス感染予防を考慮し、区での活動にも大きな影響を与えています。従来の住民を集めて講座を開催するのではなく、新型コロナウイルス感染予防対策を踏まえた開催方法を検討していく必要がある中で、どのように住民に情報を発信し関心を持ってもらうのが課題でした。



住民の関心を高める講座の内容を地区でどう活かしていくのかまでは至っていません。「どう活かしていくのか検討する方法の検討」が必要で、区に協力を仰いでいく必要があるとの意見が上がりました。

「外出移動支援」「生活支援」「見守り支援」の3つの課題についてアンケートを配布しました。3つのテーマは北小圏域にとどまらず町全域に係るテーマでもあるため、第1層協議体に今後提案していきます。



次回は新型コロナウイルス感染予防対策を踏まえて、地区での情報発信の方法と地区での感染対策の取り組みや工夫について情報を共有します。

※アンケートは8月中に相澤SCに提出をお願いします。

北小校区第5回第2層協議体はアンケート内容を精査した上で、SCの判断で開催日を調整します。

長小圏域

第3回第2層協議体
7月21日（火）

ちょっとした困りごとを気軽に頼める「お助け110番（仮）」のようなしくみを検討しています。頼みたいこと、出来ることの実例を挙げました。



頼みたいことを1人10個程度挙げました。（草取り、断捨離、買いもの支援など）

また有償か無償、有償の場合の値段などについて今後検討予定です。



整理してみると生活をする上でちょっとした頼みごとと、重要度の高い頼みごとがあることがわかりました。ちょっとした頼みごとが多く出たので、これらを解決するしくみを今後考えていきます。

長小校区第4回第2層協議体
開催日時：8月19日（水）13:30～
開催場所：防災センター1階

南小圏域

第4回第2層協議体 7月28日（火）
第5回第2層協議体 8月7日（金）

新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、気軽に足を運び困りごとを相談できる居場所づくりを検討しています。今回は安全に開催する方法を検討しました。

安全な開催方法について様々なガイドラインを元に検討しました。

- ・利用人数の上限を設定
- ・参加者はマスクの着用
- ・検温の実施
- ・手洗いの徹底
- ・定期的な換気の実施
- ・十分な間隔を確保した座席の配置 等



協議体メンバーが一丸となり、楽しみながら運営します。

名称 サロンみなみ（仮称）
場所 さつき園1階地域交流センター
日時 令和2年9月29日（火）
定員 25名（先着順）
内容 マジックショー、脳トレ

南小圏域居場所
お試し開催！

※次回の会議で開催に向け具体的に計画を立て役割分担など検討します。

南小校区第6回第2層協議体
開催日時：8月20日（木）13:30～
開催場所：さつき園1階地域交流センター

第1層生活支援コーディネーターより

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から2月下旬から6月末まで協議体は中止とし、この期間に計画していた全協議体対象の勉強会や福祉団体等との連携会議は全て延期となりました。第2層協議体は7月から再開し、「久しぶりだね、元気だった?」「人と会えないことは本当に寂しいね。」「時間があつたから調べてきたよ。」といった会話を聞くことができ、笑顔溢れる再開となりました。協議体の中からは、「協議体は色々な団体の経験者が集まって話し合いができる貴重な機会である。」「まずやってみて、みんなで協力し合おう。」「ご近所同士が繋がれる町を目指していきたい。」などの意見が挙がっています。助け合いへの温かい思いが今後のしくみづくりに繋がると感じています。

地域の生活者として感じていることで伝えたいことを協議体の席上では意見を挙げにくい、発言しにくいことがありましたら、まずは各生活支援コーディネーターへご相談ください。協議体の皆様の意見も、住民の求めるニーズの一つですので、お気軽にご相談ください。

【令和元年度第5回地域福祉検討会 静岡福祉大学社会福祉学部 渡邊英勝先生の資料より引用】

協議体の役割等

- ① 組織的なサポート
- ② 地域ニーズの把握
- ③ 情報の見える化の推進
- ④ 企画、立案、方針策定を行う場
- ⑤ 地域づくりにおける意識の統一を図る場
- ⑥ 情報交換の場
- ⑦ 働きかけの場

手段を目的化しない

- ◆ “手段”（目的達成のために取り組んできたこと）が、いつの間にか“目的”にすり替わってしまうというのは、よくある話です。そうならないために、“これは何のためにやっているのか?”を問い続けることが大切です。
- ◆ 目的と手段は相対的なものであり、その時々視点によって変わります。これまでの考えに固執しすぎず、なぜそのやり方なのかを視点を高くして問い続ける必要があります。

協議体から生まれるしくみは地域づくりをはじめ介護予防や見守り、社会参加、生きがいなど様々な効果が期待されています。 第1層SC 渡邊

第1層協議体の皆様へ

7月から第2層協議体が再開しました。第1層協議体は、第2層協議体での話し合いの内容を共有し、第2層協議体からの企画案や全域のテーマについて話し合う場です。開催は秋頃を予定しています。

協議体の皆様へのお願い

地域課題に対するしくみづくり

「移動支援」「生活支援」
「居場所」「見守り」「情報共有」
「認知症対応」等

協議体のテーマはそれぞれですが、現在検討しているテーマから地域の助け合いにと広がっていきます。
例)「居場所」づくりは見守り活動に。
「移動支援」は社会参加のきっかけに。等

- ・今年度は各協議体での話し合いの議題をもとに、県長寿政策課、県社会福祉協議会と連携を図っており、今後講座等の開催を予定しています。詳細は別途お知らせします。
- ・この生活支援体制整備事業新聞は、各協議体の進捗状況の共有や、情報の見える化を目的に発行しています。地域づくりに関心があり希望する方には新聞を配布します。各協議体の様子を撮影していますが、写真掲載が不可の方は第1層SCへご連絡ください。
- ・「こんな人がいて助けてほしい」「こんな助け合いのしくみをつくりたい」お住まいの地域ニーズ（困りごと）を検討する場がこの協議体です。地域のニーズを教えてください。

協議体の運営について

新しい生活様式を取り入れ、安心安全な協議体の運営をしていきます。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

厳しい暑さが続いているので。熱中症にもご注意ください。

新型コロナウイルス感染予防の観点からご協力をお願いいたします。

- 自宅で検温の実施をしてください。
- マスクの着用をお願いします。
- 飲み物は各自で持参してください。
- 会場入り口で手指消毒をお願いします。
- 体調不良の際は無理をせずお休みしてください。（熱がある、咳が出る等）

第2層SC連絡先

各地域包括支援センター

- 北小校区 相澤SC 055-941-5335
- 長小校区 室岡SC 055-989-5537
- 南小校区 元原SC 055-918-2121

発行元 問合せ

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

長泉町下土狩 967番地の2 福社会館内

TEL 055-988-3920 第1層SC渡邊

bureau@nagaizumi-shakyo.jp